

## 普及活動情勢報告（令和3年5月分）

安芸農業振興センター農業改良普及課

### 安芸・室戸地区農村女性リーダー協議会総会開催



4月19日、安芸・室戸地区農村女性リーダー協議会総会が安田町ふれあいセンターで開催され16人が参加しました。

総会では、令和3年度活動計画について協議され、新型コロナウイルス感染症のため昨年度は中止となった研修会「つどい」について、令和3年度は参加人数を限定し、7～8月頃に開催する予定で、準備を行っていくこととしました。農業改良普及課は女性活動の事例紹介および活動計画に対する助言を行いました。

農業改良普及課は、今後も女性リーダーの自主的な計画活動の実施を支援します。

### 花育活動 ～小学生がユリ球根を定植～



5月11日、安芸市の岩崎弥太郎生家近くのほ場で、井ノ口小学校の児童18人が、ユリの球根定植と、ヒマワリと千日紅のは種体験学習をしました。

JA高知県安芸地区花き部会のユリ、トルコギキョウなど花き生産者が、子供達に花に親しんでもらおうと花育の一環で実施しており、農業改良普及課は定植の仕方を指導しました。

生産者はユリ栽培の大変さや、やりがいについて伝え、定植後も花の生長を見守ってほしいとお願いしました。児童は「6月には除草作業を頑張って、きれいな花を咲かせたい」と意気込んでいました。

農業改良普及課は、今後も花育の推進を支援します。

### 今年もたくさん収穫するぞね！ ～ぼたなす栽培講習会～



4月30日、室戸市日南大平地区集落活動センター「ひなたぼっこ」の農林部会によるぼたなす栽培講習会が開催され、関係機関を含む6人が参加しました。

農業改良普及課室戸支所は、昨年 of 接ぎ木苗の実証試験の結果を踏まえて作成した栽培マニュアルを使って、増収のための栽培管理のポイントを説明しました。特に定植については、深植えにならないよう図示しながら指導しました。

生産者からは「去年よりも採れるように頑張るぞね」「加工品作りにも取り組みたい」といった声が聞かれました。

農業改良普及課室戸支所は、今後も関係機関と連携して、ぼたなすの増収化、消費拡大に向けた支援を行っていきます。

## 農薬保管管理や熱中症にも気をつけて ～奈半利研究会現地指導～



5月12日、農業改良普及課は、奈半利研究会に所属する4人のナス生産者を巡回指導しました。

栽培終期の管理の注意ポイントと、GAP取組項目である「農薬の適正保管」の確認および指導、これから事故が懸念される熱中症対策についても注意喚起しました。

生産者は全員鍵のかかる農薬保管庫を所有していましたが、「鍵のかけ忘れがないように気をつける」や「熱中症にも注意して作業する」等改めて意識づけることができました。

農業改良普及課は、今後も生産者が安全に事故無く栽培が続けられるよう支援していきます。

## IoPってなに？ ～穴内支部園芸部研究会青年部会～



5月20日、JA高知県（安芸地区）穴内出荷場で穴内支部園芸部研究会青年部会が開催され、生産者8人が参加しました。

農業改良普及課は、農業イノベーション推進課と協力してIoP（Internet of Plants）について説明を行いました。IoPは、ハウスをインターネットに繋げ、ハウス内環境や作物の生育状況等の見える化を進める取り組みです。部会員からは、「もっとデータを活用して販売の方にも活かして欲しい」「やっていることはいいことだと思う、これからの期待」といった声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携しながらIoPの取り組みを進めていきます。